

令和6年度使用

小学校において使用する
教科用図書を選定理由書

隠岐採択地区教科用図書採択協議会

選定理由書（保健科）

（選定：Gakken）

下記の理由により選定した。

ほぼ全ての小単元に「話し合い」の場面が設定されており、対話的・協働的な学びへのつながりを意識した構成の工夫がある。また、毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。

各章のとびらのページ「つなぐ」では、学習内容と関連の深い職業を紹介し、インタビューを掲載するなど、キャリア教育へとつながる工夫がされている。また、他の教科との関連についても取り上げているため、教科横断的な指導が期待できる。

選定理由書（国語科）

（選定 光村図書）

下記の理由により選定した。

1点目は、1年生の入門期を大切にしている点である。学習を積み重ねていくためには、入門期の土台作りが重要である。そのために、1年生の教科書では1ページ目から9ページまで場面絵を掲載し、想像したことから言葉が生まれ友達との対話によってさらにふくらませることができるようになっている。

2点目は、多様なジャンルが教材として取り上げられている点である。今までの教材に加え、題材として宇宙、防災、食品ロス、デジタル機器、SDGs、SF、ミステリーなどが取り上げられている。

3点目は、言葉を大切にしている点である。国語科の特性である言葉による見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるように、「季節の言葉」「言葉について考えよう」など言葉について繰り返し取り上げ、言葉を大切にした教科書構成となっている。また、国語科で身につけた言葉の力を他教科で活用できるよう、関連を図りやすい単元が配置されている。

選定理由書（書写）

（選定 光村図書）

下記の理由により選定した。

国語科と書写の教科書の内容が対応しているため、同一出版社である方が児童の学びをすすめやすい。

全教科の基礎である姿勢、筆記用具の持ち方（しょしゃ体操）、運筆の仕方（空に大きく書こう）が学習習慣として定着するよう学年の発達段階に応じて繰り返し丁寧に指導ができるよう工夫されている。特に、1年生に「しょしゃすたーとぶっく」、3年生に「毛筆スタートブック」が設けられ、児童の興味・関心を高める工夫がされている。

選定理由書（音楽科）

（選定：教育芸術社）

下記の理由により選定した。

題材のねらいに沿って、歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの教材がバランスよく配置され、様々な活動を通して楽しみながら学びが身につくよう工夫されている。「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」「つくる」など、活動内容やそのポイントが示されている。児童が「何を学ぶか」「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を具体的に示すことで、児童の主体的な活動を引き出すよう工夫されている。

また、二次元コードを読み取ることにより、音楽づくりを試行錯誤して進めたり、参考となる音源を聴いたり、資料を読んだりするなど、タブレット端末で学習をサポートするコンテンツにアクセスすることができ、児童一人一人の個別最適な学習につながる。

UD フォントを全編に使用したり、白を基調とするデザインを採用したり、色だけでなく形を変えることで色覚特性をもった児童への配慮をしたりするなど、ユニバーサルデザインを取り入れている。

選定理由書（社会科）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

本書は、単元の「めあて」、「小単元の学習問題」、「本時のめあて」を構造的に示すことで、児童が主体的に問題解決的な学習ができるようになっている。また、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階の中で、学習問題を自分たちで設定し、「いかす」活動につなげていくことで「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習の進め方をわかりやすく示している。さらに「活用のポイント」が、ドラえもののイラストで示されており、「社会的な見方・考え方」を働かせながら、習得した知識の定着と、調べたことをもとに考え、表現することができるよう工夫されている。

「QR コード」が示された箇所では、学習への興味・関心を高めるためデジタルコンテンツでクイズや動画が閲覧できる。さらに、個別学習や家庭学習にも活用できるようワークシートも用意されている。

隠岐との関連においては、5年「領土をめぐる問題」として竹島や尖閣諸島、北方領土等の記載があり、領土問題を自分事として考えることができるようになっている。

選定理由書（地図）

（選定：帝国書院）

下記の理由により選定した。

本書は、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」など、基本的な事項を14ページにわたって取り扱い、地図学習の導入にかかる3年生の発達段階を意識した内容になっている。各ページで「地図マスターへの道」を使って地図活用の力や新たな気づき生まれるように工夫されている。加えてQRコードを読み取ることでドローン動画、クイズ、統計などの資料を活用することができるなど、児童の興味・関心を高める工夫が見られる。

隠岐との関連においては、竹島について、中国地方と日本固有の領土のページで取り扱っている。写真と解説を踏まえながら紹介することで、児童が竹島を日本固有の領土として理解ができるように工夫がされている。

その他にも、物語の舞台となった場所を表記したり、世界地図の主な国名を英語表記したりするなど、他教科での活用を想定してつくられている。巻末にはSDGsについての特設ページが設定しており、持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取り組みを理解できるようになっている。

選定理由書（算数科）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

1. ユニバーサルデザインな紙面

UDフォントの使用、文節改行を行う、カラーバリアフリー（5年下 p. 122）の配慮、「めあて」や「まとめ」をマークではなく言葉で書き児童に伝わりやすくする、色数を抑え刺激を減らした落ち着いた紙面、余白や行間をとり文字が見やすくなる工夫などがされている。

2. 丁寧な導入

既習事項や日常の問題から学びをつなげていけるように「ふくしゅう」「オープニングムービー」（3年下 p. 14）「単元プロローグ」を設定しており、単元の導入を丁寧に扱っている。問題文も、日常生活に結びつけたものが多く児童がイメージしやすい。

3. 入門期の学習の充実

1年生のスタートカリキュラムに合わせ分冊となっている。低学年の指導に関しては特にスモールステップで児童の学びの定着に重点を置いている。（1年①p13）

4. ICTの活用

解説動画だけでなく、図形をシュミレーションして試行錯誤できるコンテンツ、グラフや表の作成ツール、練習問題などのQRコードを掲載している。授業の中だけでなく、家庭学習でも予習や復習に活用することができる。教師の教材準備の手助けになることに加え、どこでも児童が視覚的に学習内容をとらえることができるように工夫されている。別売りのタブレットドリル、問題データベースも充実しており、補充学習や災害等の休校時において家庭での学びなどに活用することもできる。

5. その他

- ・複式の年間指導計画が立てやすいように単元が配置されている。
- ・児童の思考する時間を大切にしている。（問題と答えを別ページに記載、QRコードの練習問題）
- ・児童にとって理解の難しい割合の学習に関する単元を3年生以上で特別単元として位置づけ重点的に学習できるようにしている。

選定理由書（理科）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

指導内容が精査されており、1 ページの情報量においても児童への負担を軽減するよう配慮されている。加えて、教科書本体の紙の質等が工夫され、軽量化による児童への負担軽減も図られている。

QR コードを用いたデジタルコンテンツには、実験の方法、話合いの例、理科ノート、デジ問等を掲載し、繰り返し視聴することで、関心や意欲を高め、学習に向かいやすいよう工夫されており、発展的な学習を望む児童にも対応できる内容となっている。

特にふるさと教育との関わりについて、「変わり続ける大地」の単元末の「理科の世界探検部」において、山陰海岸の写真や隠岐のジオパークがとりあげられ、身近な地域の地層に興味・関心を促す構成となっている。

全体をとおして、より多様な児童に対応する点で優れている。

選定理由書（家庭科）

（選定：開隆堂出版）

下記の理由により選定した。

全体を通して、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」のステップで学習が進められるように設定されており、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。

全題材の導入に学習のめあて、マイめあて、ステップ1～3が示されており、学習の見通しが立てやすいように工夫されている。

全体を通して、写真やイラストが効果的に使われており、児童の興味・関心を高めるように工夫されている。また、内容に沿ったデジタルコンテンツが豊富に準備されており、必要に応じて児童自らも確認できるようになっている。

デジタルコンテンツ内に触って動かす「動作コンテンツ」が示されており、考えを深める場面で児童が具体的なイメージを持ちながら主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

意見交換や発表活動の場面が随所に示されており、デジタルコンテンツ内の書き込みカードを使用して対話的な学びにつなげることができるように工夫されている。

「生活の見方・考え方」の4つの視点に沿った家庭における実践例や家庭で取り組んだ内容を記録する活動が示されており、学んだことを身近な家庭生活中で生かすことができるように工夫されている。

選定理由書（図画工作科）

（選定：日本文教出版）

下記の理由により選定した。

図画工作科の指導に当たっては、題材名の設定のありかたによって児童の発想・構想や、学習活動の広がりが変わってくる。本教科書では、発達段階に即して、児童の興味・関心を引き出し、豊かにイメージできるように題材名が工夫されている。

1年生でのスタートアッププログラムに配慮された題材配列、中学校への進学に向けた巻末ページの配置など、今回の教科書改訂では、異校種間の接続が、特に意識された構成になっている。

育てたい資質・能力の3つの柱に基づいた学習の目当てを各題材に設定し、また、3つの目当てをさらに5観点に分けて提示してあり、教師と児童が、学習の目当てを共有し取り組むことができるよう配慮されている。

巻末の「材料と用具のひきだし」のページを配置することで、児童が自主的に学習を進めることへの支援になるとともに、指導する教師への教材研究の資料となっている。

選定理由書（生活科）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

幼児期との円滑な接続のためのスタートカリキュラムに始まり、他教科等への関連や地域との連携、中学年以降への接続等などがイメージできるよう工夫されている。

学習指導要領で育成が目指されている資質や能力が、吹き出しや児童の姿、表現作品などで具体的に示され、見通しを持って活動できるよう工夫されている。

大判の教科書で 1 ページあたりの情報や資料が多く、いきいきとした活動写真も掲載されており、児童が楽しく教科書を開くことができるように工夫されている。

QR コンテンツが豊富に用意され、児童の知的好奇心を喚起したり、主体的な学びにつなげたり、学びを深めたりできるようになっている。

児童の発達段階に応じて、児童が学んだことを表現する場面では ICT 機器の活用もふくむ多様な表現方法が掲載され、2年間で徐々に活動の質が高まるよう配慮されている。

選定理由書（外国語科）

（選定：教育出版）

下記の理由により選定した。

本書は、3，4年生の学習の流れをベースに、映像を見て概要をとらえ、音声を聞いて慣れ親しむ活動から表現活動につながっていくように構成されている。また、教科書の情報量が精選されており、すっきりとしたページレイアウトになっているため、児童にとって内容が把握しやすい構造になっている。

文字指導において、英語で単語や文章を書く際の決まりが明確に示されており、丁寧な文字指導が期待される。また、単元末に発音が似ている文字を2つずつ学習する時間が設定されており、文字と発音に慣れ親しむことができるようになっている。

単元の終末に行われる言語活動で使用するワークシートや絵カード、活動シートが付属しており、活動が具体的にイメージできる。さらに、デジタル教材も豊富で、児童が主体的に楽しんで活動ができる。

選定理由書 (特別の教科 道徳)

(選定：Gakken)

下記の理由により選定した。

高学年になるほどじっくり読んで考えることのできる内容や分量となっているが、多くの教材は4ページくらいまででまとめられており、扱いやすい。教材の始まりは必ず見開きで始まるようになっている。

各学年の発達段階や実態に応じて内容項目の中で重点にする部分に複数の教材が充てられているが、命に関することの部分は、どの学年通しても3教材用意されている。

いくつかの教材において「おすすめの本」が紹介されており、児童の興味関心が継続できるように工夫されている。

「ないものはない」では、海士町を教材として取り上げ、自分の住む町のよさと関連付けて学習できる内容となっている。(4年)

教材名の下には、現代的課題マークが示され、社会と自分とのつながりを探ることができるように工夫されている。

道徳科で昔から長く扱われてきた教材も大切に残しており、教員の経験年数にかかわらず扱いやすい印象を受ける。サイズをA4判にし、挿絵や写真、図版などの資料を大きく豊富に載せることで、児童の学びを深めるつくりとなっている。